

お客さまの想いをかたちに

# メモリアルアートの大野屋 80年の歩み

# 80<sup>th</sup> anniversary

1939年に石材店として創業以来、80年にわたり、仏事やご供養に関する様々なシーンで、お客様に寄り添い続けてきた歩みの一端を、ご紹介させていただきます。

● 1939年 創業者大澤良丈が  
多磨霊園裏門前に石材店「大野屋」を開業

● 1949年 寺院と共同で八カ寺墓地を開発

● 1969年 業界初の建墓ローンの取り扱いを開始

● 1971年 社名を現在の「メモリアルアートの大野屋」に変更

● 1973年 スフィンクスをシンボルマークに制定

● 1976年 仏具部を開設し、仏壇販売を始める

● 1985年 「建墓プラン・ピラミッド」を発売し、保険事業を開始

● 1989年 平成元年

● 1995年 仏事相談サービス等を行う、大野屋テレホンセンターを開設

仏事相談や葬儀の緊急コールに使える「もしもカード」の発行を開始

葬儀子会社の「大野屋セレモ株式会社」が  
葬祭会館「おのおのやホール小平」を開設

生前予約システム「アンシア」の販売を開始

● 1998年 大野屋セレモ株式会社を統合

米国最大手のROA社と技術提携を結び、  
より多様な墓石デザインが可能となる

● 2000年 葬儀・仏壇・墓所・墓石・保険といった

仏事全般のトータルサービスを提供できる初めての店舗、  
「メモリアルギャラリー横浜」を開設

● 2002年 市田ひろみ氏をイメージキャラクターとして採用

● 2003年 ペットの遺骨と一緒に埋葬できる国内初墓地「Withペット」を開発

● 2005年 グリピング葬を提案する式場

「フューネラルリビング小平」をオープン

新方式の遺体衛生保全サービス「美粧」を提供開始

墓石業界で初めて「プライバシーマーク」を取得



「もしもカード」の会員証。入会後は会員の皆様の葬儀など仏事のご相談にお答えしている。

TVCMで「メモリアルアートの大野屋」の名が一躍有名に

ドラマ「寺内貫太郎一家」で石屋職人のオヤジ役・小林亜星さんや、ミヤコ蝶々さんを起用したCMで大野屋の名が一躍お茶の間に知られた。



4代目のCMキャラクターに起用された京都出身の服飾評論家・市田ひろみさん。



「MEMORIAL ART OHNOYA」の頭文字「M・A・O」をベースにした社名ロゴを新しいブランドシンボルとして制定し、あらゆるアイテムに展開。

2000年

2000年代

1990年

90年代

1939年

90年代以前